

夢と希望が持てる 保育実習に向けて

～ 保育実習指導者のための手引き ～



熊本県保育協議会

保育実習とは…

目の前に子ども達がいる
未来の自分を想像させる
大いなる可能性を見いだす
とても大切な時間

だから…

未来の保育者に大きな「花」を咲かせるために
保育実習を有意義なものにしていきましょう

それが

今、保育と向き合っている
私たちの「希望」です



こんな思いってありませんか？

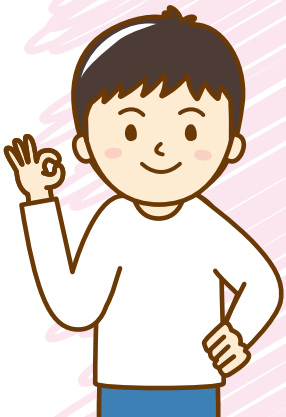
- ★何を教えていいかわからない
- ★今の実習生って？
かわり方がわからない
- ★日々の業務が忙しいのに、これ以上…
- ★自信がない



しかし



- *実習生は、「保育」を学ぶ権利があり、保育現場の実習は大変重要な機会です。
- *机上での学びから、実践を目にし、実際に園児と関わったり、保育者の先生方の動きを見ながら学び、保育実践に参加する機会となります。
- *私たちは実習生の指導者であり、またはモデルとなります。
- *未来の保育者である実習生が、良いイメージをもって保育現場で働く人となるために実習生と共に気持ちを引き締め保育に向き合いましょう。



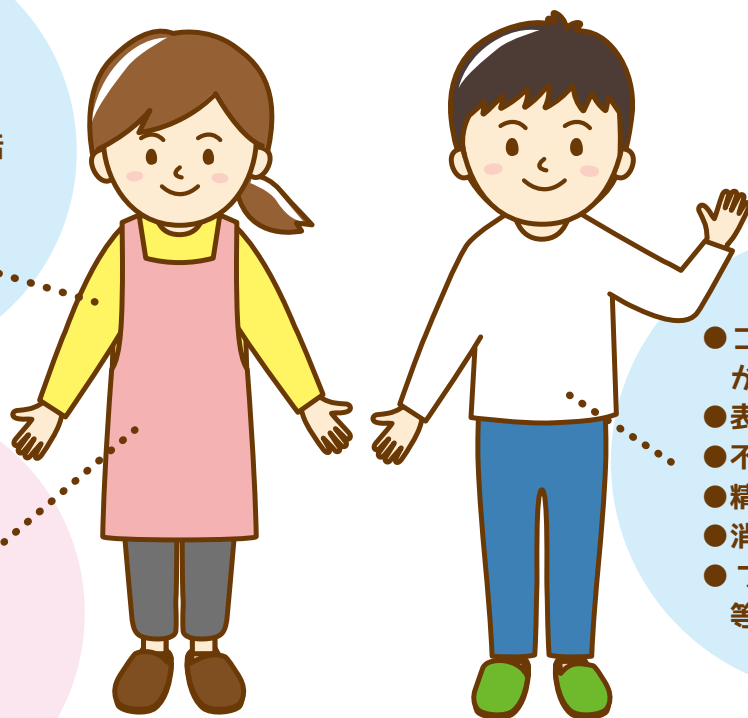
「実習指導は大変」という思いを「チェンジ」できる
よう指導のポイントをあげてみました。皆さんが同じ
気持ちで実習生の「実習環境」を整えることを目的と
しています。



1. まずは今の実習生を知ろう

- 核家族化、少子化、コロナ禍により生活体験が少ない

- 素直で優しい
- ITに強い
- 言葉や態度に敏感
- 創造力が豊か



- コミュニケーションが苦手
- 表現力が乏しい
- 不器用
- 精神的に弱い
- 消極的
- プライドが高い…等々

※個人差があり、一概に今の学生は…とは言えませんが、こういう人も増えてきているようです。

2. 受け入れ側のポイント

- 笑顔で接しましょう
- 「実習の先生、学生さん」ではなく、名前で呼びましょう
- 私達から声をかけていきましょう
- 話をじっくり聞きましょう
- 「よいところ」を見つけてほめていきましょう
- 課題を出したら必ず確認しましょう
- ヒントやアドバイスを出しながら実習生に「考える時間」をあげましょう
- 「〇〇園の保育士さんになりたい」と思われるような、存在になりましょう。
- 実習中の困りごとや体調の変化等は相談先があることを伝えましょう
(守秘義務があるので、相談しても他に漏らすことはないことを伝えましょう)
- 清掃は一緒にしながら清掃のやり方を丁寧に教えましょう。

※清掃の時間が多くなりすぎないように配慮しましょう。



3. 実習で何を学ぶの？

- ① 大学で学んだ「知識」「技術」「態度」を『保育の場』で確かめて実際の保育力を養う
- ② 保育に対する「関心」「興味」「意欲」を高める
- ③ 子どもと接することで、子どもを理解する
- ④ 「保育者」としての社会的責任を自覚し、「子ども」と「保護者」の幸せを願い、寄り添い支えることの大切さの意味を学ぶ
- ⑤ 実習生自身の「保育観」を形成する糸口



4. 私たちの役割・関わりとは

- ① 実習生が考え、実践できるような学びの雰囲気を作り、保育場面での指導助言を行う
- ② 子どもの「安全」「人権」を守りつつ、保育の指導を行う
- ③ 職員間の連携を図り、情報交換を行う
- ④ 実習生に「成功体験」を味合わせる



5. 何を頼りに指導するの？

- ① 各養成校から持参する「実習実施指導」
- ② この実習手引書
 - ・実習指導者のための指導案(参考例) P6～P10
 - ・年齢別チェック表(参考例) P11～P12



6. 実習担当者になったら

- ① 実習生の紹介文等に目を通す
- ② 実習生に挨拶し、自己紹介する
- ③ 実習生の実習の目標を聞き、助言・アドバイスをする
 - ☆ 実習の計画が具体的で実践可能であるか
 - ☆ 日々の目標・実習計画が保育の計画に沿っているか
 - ☆ 前日に指導された課題が活かされているか
- ④ 実習生の目標・実習計画に対して、日程の調整を行う
- ⑤ 日々の反省会で、学生がその日にできたことを確認し、次の日につながるよう助言・アドバイスする

…etc



7. コメントの書き方は？

実習生が書いた実習記録の「よい所」にアンダーラインを引き、文章にして「褒める」

- ☆ よい気づきがありましたね！
- ☆ 子どもとコミュニケーションが取れてましたね！
- ☆ 事前の学習がよくできていましたよ！

実習生にも伝わるよう、わかりやすい表現で具体的に書く
学生が「考えられる」ようなアドバイスを書く



実習生は私たちの後輩です。園全体で関わりを持ち、大きな「花」を咲かせるため、大切に育てていきましょう。
この手引書は、実習指導の基本の一部にすぎません。

実習生が心から「いい実習期間だった。学びが深くなった、保育ってすごい、おもしろい」という感想を述べる事が出来るように、頑張りましょう。

8. 園全体としての受け入れ準備



- * 実習担当者は日ごろの業務に加え、実習生の指導、記録のチェック、コメントなど多忙になります。園全体で実習生を受け入れているという気持ちで、園のチームワークをフルに活かし、皆で実習担当者になった先生をサポートできる体制にすることが大切です。
- * 園長・主任は実習担当者に任せっきりにしてはいけません。どのように記録を読み指導をしているのか確認をした上で、時には実習担当者にアドバイスをすることも必要です。園長印は必ず目を通した上で押しましょう。

9. 実習生が一番困ること・戸惑うこと…



- ・クラスにいる複数の先生たちの指示が異なる場合、どの先生の指示の通りにしていいかわからない
 - ➔ 先生たちの日ごろの意思疎通の無さ、共有できていない、コミュニケーション不足からくる不一致になります。実習生を迎える前に共通認識するなど、チームワーク力を高めましょう。
- ・クラス内の先生たちが険悪なムードを醸し出しており、居心地が悪すぎる
 - ➔ 実習生もですが、園児にもこのような雰囲気はよくないことです。中にいる人たちには当たり前になっていることを第三者は敏感に感じる場合があります。人的環境の点からも自分たちで自己評価し、改善していく努力をし続けることが保育の専門性を高めることに繋がります。
- ・保育中に、保育に関係のない話を長々としあっている先生たちがいる
 - ➔ 報連相として簡潔に話をすることは大切です。しかしマンネリ化すると、それから話がそれて無駄話に発展してしまうことがあるかもしれません。保育中の職員同士の会話（報連相）は端的に、要点をそして笑顔で伝えあうという習慣を全職員で持つようにすると、園としてもいい雰囲気になります。
- ・実習生だけにある一定の時間、園児を任せ、保育者がいない状況
 - ➔ 一人担任の場合は少しの時間、実習生が一人になることもあると思います。保育室を抜ける時は、〇〇で少し部屋を離れるから〇分くらいの間、しっかりお願いしますね、と実習生が一人で不安になるという要素をつくらないように配慮しましょう。（責任を任せられたという思いが不安要素になると思います）

指導目標

- ★実習で学んでほしいことについて実習生に具体的に伝える
- ★園の保育理念や保育方針に基づいた、園が大切にしている実習指導目標について伝える
- ★実習生の意向を踏まえて、実習指導をする
- ★各園の指導目標を書きましょう

| 指導内容 | チェック <input checked="" type="checkbox"/> | 指導方法・留意点 |
|-------------------------|---|---|
| ■オリエンテーション | | |
| ①園の概要 | <input type="checkbox"/> | ・経営主体、設立年月日、事業内容、定員、職員数、保育時間、地域の特色、保育の特殊性、子育て状況、子どもの特性等の説明をする |
| ②園の保育理念・方針・目標・方法・内容等 | <input type="checkbox"/> | ・園の保育理念・方針・目標を説明し、それに基づいたクラス編成、保育室・園庭等の環境構成、保育の日課、行事等、実習するにあたり具体的な保育方法・内容を伝える |
| ③注意事項 | <input type="checkbox"/> | ・所持品、服装、提出物、お弁当、休憩時間、実習時間、欠席する場合、駐車場、災害時や感染症にかかった場合の対応等、細かな点についての確認と説明をする |
| ④倫理的配慮 ・秘密保持義務（守秘義務） | <input type="checkbox"/> | ・実習で知りえた個人情報については、家族を含む第三者へ漏らさないことの説明・確認をする |
| ・個人情報保護 | <input type="checkbox"/> | ・携帯電話での子どもの写真撮影は禁止であることを伝える |
| ・子どもの人権と最善の利益の考慮 | <input type="checkbox"/> | ・1人1人の子どもの人権尊重と、最善の利益についての説明・確認をする |
| ⑤子どもにかかわる際の配慮 | <input type="checkbox"/> | ・安全に留意する施設環境の説明をする |
| | <input type="checkbox"/> | ・子どもへの言葉かけの際、配慮すること |
| | <input type="checkbox"/> | ・子どもへの対応の仕方等、具体的に説明する |
| ⑥職員に対するかわり | <input type="checkbox"/> | ・わからない事は、質問をするように伝える |
| | <input type="checkbox"/> | ・報告、連絡の重要性についての説明をする |
| | <input type="checkbox"/> | ・提出物、実習反省会についての説明をする |
| ⑦実習中のスケジュール | <input type="checkbox"/> | ・配属クラス、観察実習、参加実習、部分実習などの予定と留意点についての説明をする |

■保育実習Ⅰ

◆0、1歳児クラス



- ①デイリープログラム
- ②担当制保育（0歳児）

③愛着関係

- ④授乳
- ⑤食事
- ⑥おむつ交換
- ⑦衣服の着脱
- ⑧睡眠
- ⑨排泄
- ⑩身の回りの清潔
- ⑪トイレトレーニング

⑫朝の受け入れ

- ⑬子どもの健康観察（視診）・朝の準備
 - ・機嫌・顔色・肌の状態・全身の健康状態等
 - ・園児の朝の準備物の確認

⑭保育室・食事室・調乳室・寝室・園庭の環境構成

- ⑮子どもへの対応（0、1歳児）
 - ・泣いている子のあやし方
 - ・喧嘩、物の取り合い等の対応の仕方
 - ・室内のおもちゃの説明

- ⑯子どもの遊び
 - ・反射活動
 - ・粗大運動
 - ・探索的遊び
 - ・目と手の協応の遊び
 - ・粗大運動
 - ・探索的遊び
 - ・目と手の協応
 - ・初歩的役遊び

- ・0、1歳児クラスの一日の流れを説明をする
- ・0歳児クラスの担当制の在り方、もしくは0歳児への食事、排泄、睡眠等、養護にかかわる部分の説明をする
- ・1歳までは、保育士と子どもの愛着関係が特に大切であることの説明と、実際の保育士と子どものかかわりの様子について説明する
- ・授乳、食事、おむつ交換、衣服の着脱、睡眠、トイレトレーニング等、実際実習できない場合は、保育士と子どものかかわりを観察してもらいながら（その方法について）、説明する
-
-
-
-
-
-
-
-
- ・受け入れ時の保育士の子どもと保護者への対応について観察しながら説明する
- ・視診の要点等について説明し、保育士と一緒に視診を経験させる
- ・朝の準備物の確認を保育士と一緒にする
-
- ・保育室の環境構成、食事室、調乳室、寝室、園庭等、子どもが日々使う空間環境とその空間の意図するところを説明する
-
- ・泣いているときにどのようにあやすのか、保育士の対応を観察しながら説明する
- ・子ども同士のやり取りで、難しい場面の対応等を説明する
- ・室内にある発達を促すおもちゃ等の説明をし、子どもの遊びを見守る
-
-
-
-
- ・0歳児クラス：乳児～幼児（0歳～2歳）まで反射活動、粗大運動、探索的遊び、目と手の協応の遊び等について、子どもを観察しながら説明する
-
-
-
-
- ・1歳児クラス：幼児（1歳～3歳前）まで粗大運動、探索的遊び、目と手の協応、初歩的役遊び等について、子どもを観察しながら説明する
-

- ⑰保育士が行う遊び
- ・絵本の読み聞かせ
 - ・手遊び・わらべ歌
 - ・発達段階に応じたおもちゃの提供の仕方

- ・散歩

- ⑱保護者への対応（参観）
- ・朝夕の送迎時のやり取り

- ・連絡帳の書き方

- ⑲保育士の業務内容（01歳児）

- ⑳実習日誌

- ㉑実習指導案

- ㉒自己評価と今後の課題

◆2歳児クラス

- ①デイリープログラム

- ②担当制保育（2歳児）

- ③食事（昼食・おやつ）

- ④排泄

- ⑤トイレトレーニング

- ⑥衣服の着脱

- ⑦睡眠

- ⑧朝の受け入れ、朝の準備

- ⑨自由遊び（室内・園庭）

- ⑩子どもへの対応（2歳児）

- ⑪保育室・園庭の環境構成


- ⑫室内のおもちゃ

- ⑬子どもの遊び

- ・粗大遊び
- ・目と手の協応、操作的遊び
- ・初歩的役遊び
- ・絵本、わらべ歌
- ・その他



- ・発達にあった絵本を一緒に選び、実践を促す
- ・手遊び、わらべ歌の実践を促す
- ・室内のおもちゃを使って遊ぶ際に、おもちゃの準備、提供の仕方、片づけ方について保育士を観察しながら説明する
- ・散歩の際に、注意点等説明し、保育士に同行させる
- ・どのようなやり取りをしているのか観察し、説明する
- ・連絡帳を見せたり、可能であれば、実際書かせる等して、連絡帳についての重要性を意識させる
- ・保育士の仕事内容について、具体的に説明する
- ・日々の実習日誌で気づいた事があれば助言する
- ・絵本の読み聞かせ、手遊びわらべ歌、環境の設定等、実習を行う際は、指導案を作成してもらい、指導する
- ・実習終了後の反省会等で、自己評価と今後の課題について、話し合う機会を持つ
- ・2歳児クラスの一日の流れを説明する
- ・担当制保育であればその説明、そうでない場合は、各園の保育方法について説明する
- ・食事、排泄、トイレトレーニング、衣服の着脱、睡眠などの仕方について説明する
-
-
-
-
- ・朝の受け入れ方法、子どもが自分の持ち物をどのように自分で準備するのかについて観察しながら説明を行う
- ・登園後の室内遊びや園庭での遊びについて説明する
- ・子どもの発達を踏まえた対応（自分でできる所、保育士が手伝う所等）を説明する
- ・保育室・園庭の環境構成について説明する
- ・保育室のおもちゃについて説明する
- ・粗大遊び、目と手の協応・操作的遊び、初歩的役遊び、絵本・わらべ歌等について、子どもの遊んでいる様子と一緒に見ながら、環境構成を含めた子どもの遊びについて説明する
-
-
-
-
-

| | |
|---|--|
| <p>⑭子ども同士のかかわり方</p> <p>⑮部分実習</p> <p>⑯保育士の業務内容（2歳児）</p> <p>⑰実習日誌</p> <p>⑱実習指導案</p> <p>㉑自己評価と今後の課題</p> | <p><input type="checkbox"/> ・子ども同士のかかわりについて、発達を踏まえた説明をする</p> <p><input type="checkbox"/> ・2歳児クラスの子どもの発達にあった内容について助言、指導をし、実践してもらう</p> <p><input type="checkbox"/> ・保育士の仕事内容について具体的に説明する</p> <p><input type="checkbox"/> ・日々の実習日誌で気づいた事があれば助言する</p> <p><input type="checkbox"/> ・実習指導案を確認、指導した後、実践してもらう</p> <p><input type="checkbox"/> ・実習終了後の反省会等で、自己評価と今後の課題について話し合う機会を持つ</p> |
| <p>◆3歳以上児クラス</p> <p>①デイリープログラム</p> <p>②朝の受け入れ</p> <p>③自分の持ち物の整理整頓</p> <p>④朝の挨拶の仕方</p> <p>⑤食事</p> <p>⑥排泄</p> <p>⑦睡眠</p> <p>⑧保育の方法</p> <p>⑨自由遊び（園庭・保育室）</p> <p>⑩子どもへ対応（3歳以上児）</p> <p>⑪子どもの遊び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構成（構造）遊び ・机の上の遊び ・役割遊び ・ルールのある遊び ・絵本・わらべ歌 <p>⑫保育士の業務内容（3 4 5歳児）</p> <p>⑬実習日誌</p> <p>⑭実習指導案</p> <p>⑮環境構成</p> <p>⑯自己評価と今後の課題</p> |  <p><input type="checkbox"/> ・配属されたクラスの一日の流れを説明する</p> <p><input type="checkbox"/> ・朝の受け入れ方法について説明する</p> <p><input type="checkbox"/> ・子どもの朝の準備について説明する</p> <p><input type="checkbox"/> ・子どもや保護者への朝の挨拶の仕方等について説明する</p> <p><input type="checkbox"/> ・食事の方法・内容（アレルギー等）等について説明する</p> <p><input type="checkbox"/> ・3, 4, 5歳児、1人1人への排泄の介助の仕方の違いについて説明する</p> <p><input type="checkbox"/> ・食後・昼寝時の過ごし方の方法等について説明する</p> <p><input type="checkbox"/> ・異年齢保育、年齢別保育、行事、設定保育等、保育の方法について説明する</p> <p><input type="checkbox"/> ・自由遊びの時間の保育方法や子どもへのかかわり方について説明する</p> <p><input type="checkbox"/> ・子どもの接し方等につての注意点などを説明する</p> <p><input type="checkbox"/> ・構成（構造）遊び、机の上の遊び、役割遊び、ルールのある遊び、絵本・わらべ歌等について、子どもの遊んでいる様子を見ながら、環境構成を含めた子どもの遊びについて説明する</p> <p><input type="checkbox"/> ・各クラスでの保育士の業務について具体的に説明する</p> <p><input type="checkbox"/> ・日々の実習日誌で気づいた事等助言する</p> <p><input type="checkbox"/> ・部分実習、設定保育の実習等、様々な責任実習をする場合、指導案を確認し、指導した後実践してもらう</p> <p><input type="checkbox"/> ・保育室・園庭の環境構成、園外の環境等について説明する</p> <p><input type="checkbox"/> ・実習終了後の反省会で、自己評価と今後の課題について話し合う機会を持つ</p> |

■保育実習Ⅱ

◆保育実習Ⅰに以下のことを付け加える

①保育所の役割

- ・養護と教育が一体となつて行われる保育
- ・環境を通して行う保育
- ・生活や遊びを通して総合的に行われる保育

②保育所の社会的責任

- ・子どもの人権尊重
- ・地域社会との交流・連携
- ・保護者・地域社会への保育内容の説明
- ・個人情報の取り扱い
- ・保護者の苦情・意見に対する対応

③保育士の業務

④保育士の専門性

⑤保育士の職業倫理

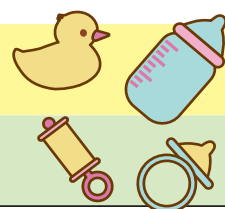
⑥指導計画の作成、実践、省察、評価

⑦実習における自己の課題の明確化



- ・養護と教育が一体となっている実践事例について説明する
- ・環境を通して行う保育の具体例を説明する
- ・生活や遊びの中で行われる保育・教育の具体例を説明する
- ・子どもの人権を十分配慮して保育をする事の重要性とその具体例を説明する
- ・地域社会との交流や連携について、園がどのように行っているか説明する
- ・園が行う保護者や地域社会への保育内容の説明をどのように行っているかについて説明する
- ・子ども、その家族、職員間の個人情報の取り扱い方について説明する
- ・保護者の苦情・意見に対して園ではどのように対応しているのかについて説明する
- ・保育士の業務には、子どもの保育、子どもの保護者に対する保育に関する指導、加えて、地域の子育て家庭に対する子育て支援（保育指導）があることを具体的に説明する
- ・保育士の専門性とは、倫理観に裏付けられた専門的知識、技術、および判断をもって保育や子育て支援を行う事について、具体的にわかりやすく説明する
- ・また、その専門性の向上に絶えず努めるための研修等があり、自己研鑽、自己評価を行うことの重要性について説明する
- ・全国保育士会倫理綱領に基づいた倫理観について説明する
- ・指導計画の作成、実践、省察、評価について、園ではどのように行っているか説明する
- ・実習で学んだ事から自己課題を明確にすることにより、次の目標へとつなげることができるよう促したり、助言したりする

0・1歳児チェック表（参考例）



| | 経験してほしい実習内容 | チェック ○△ | チェックのポイント |
|----|----------------|------------|--|
| 1 | 月齢による正しい抱っこの仕方 | | <ul style="list-style-type: none"> ・背骨と首を守る抱き方を知る ・揺らしすぎないことや、揺らす幅を知る |
| 2 | おんぶをする場合 | | <ul style="list-style-type: none"> ・口や鼻がふさがっていないか確認する ・おんぶ紐を正しく装着する |
| 3 | 授乳 | | <ul style="list-style-type: none"> ・目を見ながら授乳する ・正しい抱き方（飲ませ方）を知る ・「おいしいね」など言葉をかける |
| 4 | 授乳後の排気の仕方 | | <ul style="list-style-type: none"> ・縦抱きにし、優しく促す |
| 5 | 離乳食、給食の介助 | | <ul style="list-style-type: none"> ・スプーンの使い方を知る ・一口の量を知る ・「モグモグ」「かみかみ」などの言葉をかける |
| 6 | おむつ交換 | | <ul style="list-style-type: none"> ・気持ちよさを感じられるような言葉をかける ・月齢に応じた着脱の仕方を知る（寝たまま、お座り、立位） ・便の始末の仕方を知る |
| 7 | 着替え | | <ul style="list-style-type: none"> ・月齢に応じた着脱の仕方を知る ・言葉を添えながら丁寧に関わる |
| 8 | 睡眠 | | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの側において優しく体をさすったりする ・仰向けに寝せる |
| 9 | 絵本の読み聞かせ | | <ul style="list-style-type: none"> ・月齢に応じた絵本を選ぶ ・子どもの様子を見ながら読む ・ゆっくり、はっきりとした言葉で読む |
| 10 | 子どもと一緒に遊ぶ | | <ul style="list-style-type: none"> ・発達に合わせて応答的に遊ぶ ・安全に配慮して遊ぶ |
| 11 | 泣いている子をあやす | | <ul style="list-style-type: none"> ・優しい表情で言葉かけをする ・抱きかかえてあやす |
| 12 | 赤ちゃん体操やわらべ歌遊び | | <ul style="list-style-type: none"> ・優しく語り掛けたり、歌ったりする ・負荷をかけすぎず気持ち良い感覚で対応する |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

2歳児チェック表（参考例）



| 経験してほしい実習内容 | | チェック ○△ | チェックのポイント |
|-------------|----------------------|------------|---|
| 1 | 排泄の援助（おむつ交換、トイレへ誘導等） | | <ul style="list-style-type: none"> ・励ましや促しの言葉をかける ・おもしろがあっても「大丈夫だよ」「気持ち悪いね」などの言葉をかける |
| 2 | 給食時のかかわり方 | | <ul style="list-style-type: none"> ・個々に応じた援助をする ・無理に食べさせたりしない ・「もぐもぐ」「カミカミ」などの言葉を添える |
| 3 | 着替え | | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの意欲を促しながら援助する ・状況に応じて立位・座位で着替え安全に考慮する |
| 4 | 睡眠 | | <ul style="list-style-type: none"> ・静かに関わり必要に応じて体を優しくさすったりする ・子守唄を歌いながら眠りに誘う |
| 5 | 絵本、紙芝居、手遊び、わらべ歌 | | <ul style="list-style-type: none"> ・発達に合わせた内容を選ぶ ・見やすい位置、声の大きさ |
| 6 | 子どもとの関わり | | <ul style="list-style-type: none"> ・優しいまなざしで応答的に関わる |
| 7 | 子どもの好きな遊びを知る | | <ul style="list-style-type: none"> ・見守ったり、一緒に遊んだりする ・子どもの言葉や身振りに応答的に関わる |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

3歳以上児チェック表（参考例）



| 経験してほしい実習内容 | | チェック ○△ | チェックのポイント |
|-------------|-----------------|------------|---|
| 1 | 子どもの好きな遊びを知る | | ・いろいろな子どもに関わって遊ぶ |
| 2 | 子どもとの関わり | | ・応答的に会話を楽しむ ・子どもの目線と一緒にいる |
| 3 | 給食時のかかわり方 | | ・個人差に応じた関り方をする ・言葉を添えながら援助する |
| 4 | 基本的生活習慣 | | ・手洗いやうがい、排泄時の関わり方 ・衣服の着脱等の援助の仕方を知る |
| 5 | 絵本、紙芝居、手遊び、わらべ歌 | | ・発達に合わせた内容を選ぶ ・見やすい位置、声の大きさ |
| 6 | 睡眠時 | | ・静かな雰囲気を作る ・体を優しくさすったり、子守唄を歌う ・寝ない子への対応 |
| 7 | ルールのある遊び | | ・遊び方を理解し一緒に遊ぶ ・遊びに参加できない子を誘ってみる |
| 8 | 意見の衝突時の関わり方 | | ・お互いの気持ちを代弁したり仲介する ・話の整理をして分かりやすい言葉で話す |
| 9 | 遊具や用具の扱い方 | | ・楽器や体育用具等の取扱い方を知り、準備や片づけを手伝う |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

この実習指導者のための指導案・年齢別チェック表は、各園の状況に合わせて参考にして下さい。

